



注射薬調剤1施用ごとの取り揃えについて

DI EXPRESS 7月号でお知らせしたとおり、10月28日・29日受審の病院機能評価に対応するために、注射薬調剤時は一施用ごとに取り揃えを行っています。この度、下記のように調剤方法を変更・改善しますのでよろしくお願ひします。

★薬剤部出力の処方★

- アンプルとバイアルについては、1施用ごとにアンプル袋に薬剤とラベルを入れる。
- アンプル袋に入らない薬剤（輸液・造影剤等）はラベルをアンプル袋に入れ、輪ゴムまたはテープで薬剤にとめる。
- 分割使用する薬剤は、まとめて薬剤とラベルをアンプル袋に入れる。
- 緊急注射薬処方1施用ごとに調剤した後、患者ごとに1日分ずつビニール袋に入れ、ボックスコンベアー（以降BOX）搬送する。ビニール袋に入らない場合は、そのままBOXに入れて搬送する。

★病棟出力の処方★

- 1日分をまとめてアンプル袋に入れ、患者ごとに1日分ずつビニール袋に入れてBOX搬送する。ビニール袋に入らない場合は、そのままBOXに入れて搬送する。

医療監視が無事終了しました

9月5日に厚生労働省と山口県（宇部環境保健所）による医療監視が実施され、無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

注射薬在庫の見直しが無事終了しました

毎年救急の日（9月9日）に行っている救急薬品セット、外来ストック、病棟ストックの見直しが無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

夜間休日は原則として病棟在庫から使用することになっていますので、これらを十分ご活用下さい。

ただし特定生物由来製品（血液製剤）を使用する際には、ロット管理の徹底をお願いします。なお、外来及び病棟に在庫している毒薬・向精神薬は盗難を防ぐため、厳重に管理して下さい。

抗がん剤の医薬品情報提供について

抗がん剤の医薬品情報シールの文面に「腫瘍」という文字が入っているため、「医薬品情報提供」の指示がある場合には病名告知有無を確認（疑義照会）していますが、インターネットの普及に伴い、薬の効能効果を誰でも簡単に調べることが可能であり、実際、告知せずに治療されることはほとんどないと考えられます。今後、「医薬品情報提供」指示がある場合、疑義照会を行わずに医薬品情報を提供することを検討しています。ご意見がございましたら、薬剤部DIセンターへご連絡下さい。（内線：2668）

長期実務実習が始まりました

9月2日（月）から11月15日（金）まで、薬学部5年生を対象とした長期実務実習（男性2名、女性3名）を行っています。薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の修得に精力的に取り組んでいます。服薬指導等で病棟を訪れた際はよろしくお願ひします。

効能・効果、用法・用量追加のお知らせ

★ゲンタシン注10・60(一般名:ゲンタマイシン硫酸塩)＜アミノグリコシド系抗生物質製剤＞

【用法・用量】成人:1日3mg/kgを3回に分割して筋肉内注射または点滴静注。増量する場合は、1日5mg/kgを限度とし、3～4回に分割投与。(適宜減量)

※1日最大5mg/kgまで増量した場合、副作用の発現を防ぐため、臨床的改善が認められた場合は、速やかに減量すること。

小児:1回2.0～2.5mg/kgを1日2～3回筋肉内注射または30分～2時間かけて点滴静注。(適宜減量)

★シナジス筋注液50mg・100mg(一般名:パリビズマブ)＜抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体製剤＞

【効能・効果】RSウイルス感染流行初期において「24ヵ月齢以下の免疫不全を伴う新生児、乳児および幼児」・「24ヵ月齢以下のダウン症候群の新生児、乳児及び幼児」におけるRSウイルス感染による重篤な下気道疾患の発症抑制

★リュープリン注射用キット1.88・3.75(一般名:リュープロリン酢酸塩)＜LH-RH誘導体 マイクロポセル型徐放性製剤＞

【効能・効果】中枢性思春期早発症

「テラビック錠」承認条件解除のお知らせ

C型慢性肝炎治療薬「テラビック錠」において、市販後全例調査による安全性および有効性情報が収集されてきたが、厚生労働省の薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会で本全例調査の結果が報告され、添付文書に記載されていた「市販後一定数の症例を対象とした全例調査」の承認条件が解除となった。

「ファンギゾンシロップ 100mg/mL」、「ホストイン静注 750mg」供給再開のお知らせ

DI EXPRESS No. 30で「ファンギゾンシロップ 100mg/mL」及び「ホストイン静注 750mg」が品薄となる旨をお知らせしましたが、以下の日程より安定供給が可能になりました。

薬剤名	安定供給開始日
ファンギゾンシロップ 100mg/mL	2013年8月30日
ホストイン静注 750mg	2013年9月2日

オーダ削除のお知らせ

以下の薬剤のオーダを削除

オーダ削除日	オーダ削除薬	備考
2013年8月	塩酸ジブカイン注射液 0.5%・1% (院内製剤)	使用頻度が少なく、在庫もなくなったため
2013年9月11日	ソリタ T4号 500mL	在庫がなくなったため
2013年9月25日	クロスエイト M1000 単位	クロスエイト MC1000 単位と切り替えのため
2013年9月26日	ユナシン錠 375mg	在庫がなくなったため (代替薬: オグメンチン配合錠 250RS)

販売移管のお知らせ

以下の薬剤の製造販売元等変更

薬剤名	販売移管前		販売移管後 (2013年10月1日以降)
サリンヘス輸液 6% ヘスパンダー輸液	販売元: フレベニクス カベール ジャパン	→	販売元: 大塚製薬工場

医薬品・医療機器等安全性情報 No.304・305

★医療機関・薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査について

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）では、平成 22 年度より、医療機関・薬局における安全性情報の入手・伝達・活用状況を把握し、より臨床現場で利用されやすい最適な情報のあり方や、情報提供の方法を検討するための調査を実施している。平成 24 年度に、全国の病院（8,541 施設）及び全国の保険薬局の半数（26,915 施設）に対して医薬品安全性情報の取扱いに関する調査を実施した。

★ヒドロキシエチルデンプン含有製剤による腎機能障害等について

血液代用剤ヒドロキシエチルデンプン含有製剤（HES 製剤）について、平成 25 年 6 月に、欧州医薬品庁（EMA）の医薬品安全監視リスク評価委員会（PRAC）より、安全性に関する問題が示された海外臨床試験の結果を根拠として販売承認停止勧告が発表された。この勧告を契機として、本邦においても、HES 製剤に関する国内外の副作用の発現状況、海外における対応状況や関連文献等を評価し、平成 25 年 9 月 17 日に、製造販売業者に対して、重症敗血症患者等の重症患者管理における本剤投与に関する注意喚起や、腎機能障害についての注意喚起等を追記するよう使用上の注意の改訂を指示した。

★妊娠と薬情報センター事業について

厚生労働省では、平成 17 年 10 月より、国立成育医療研究センターに「妊娠と薬情報センター」を設置し、妊婦あるいは妊娠を希望している女性に対し、最新のエビデンスに基づく相談業務を実施、さらに相談者を対象として妊娠結果の調査を行い、新たなエビデンスを確立する調査業務も合わせて行っている。本年度新たに 4 病院の協力を得て、妊娠と薬に関する相談・情報収集体制の充実・強化を図ることとした。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について改訂内容を紹介する。

◎ゴリムマブ(遺伝子組換え)(商品名:シンボニー皮下注 50mg シリンジ)＜抗リウマチ薬＞

【重大な副作用】間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難等の呼吸器症状に十分注意し、異常が認められた場合には速やかに胸部レントゲン・CT 検査及び血液ガス検査等を実施し、投与中止とともにニューモシスティス肺炎との鑑別診断（β-D グルカン測定等）を考慮に入れ適切な処置を行うこと。なお、間質性肺炎既往歴患者には、定期的に問診を行うなど、注意すること。

※間質性肺炎関連症例：8 例（うち死亡 0 例）（平成 23 年 9 月～平成 25 年 5 月）

◎アログリプチン安息香酸塩(商品名:ネシーナ錠 6.25mg)＜糖尿病用剤＞

◎アログリプチン安息香酸塩・ピオグリタゾン塩酸塩(商品名:リオベル配合錠 LD・HD)＜糖尿病用剤＞(未採用)

◎ビルダグリプチン(商品名:エクア錠 50mg)＜糖尿病用剤＞

【慎重投与】（ネシーナ錠、リオベル配合錠のみ）腹部手術の既往又は腸閉塞の既往のある患者

【重大な副作用】・間質性肺炎（ネシーナ錠、エクア錠のみ）：

咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音異常（捻髪音）等が認められた場合には、速やかに胸部 X 線・CT、血清マーカー等の検査を実施すること。間質性肺炎が疑われた場合には投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等適切な処置。

・腸閉塞（ネシーナ錠、リオベル配合錠のみ）：

高度の便秘、腹部膨満、持続する腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。

※間質性肺炎関連症例：（ネシーナ錠）4 例（うち死亡 0 例）（平成 22 年 6 月～平成 25 年 6 月）

（エクア錠）5 例（うち死亡 0 例）（平成 22 年 4 月～平成 25 年 6 月）

※腸閉塞関連症例：（ネシーナ錠）4 例（うち死亡 0 例）（平成 22 年 6 月～平成 25 年 6 月）

◎バルサルタン(商品名:ディオバン錠 80mg)＜血圧降下剤＞

◎バルサルタン・ヒドロクロロチアジド(商品名:コディオ配合錠 EX)＜血圧降下剤＞

◎バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩(商品名:エックスフォージ配合錠)＜血圧降下剤＞(未採用)

【重大な副作用】・中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群

(Stevens-Johnson 症候群)、多形紅斑：異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。

・天疱瘡、類天疱瘡：水疱、びらん等があらわれた場合には、皮膚科医と相談し、投与中止など適切な処置。

※皮膚粘膜眼症候群：（ディオバン錠）1 例（うち死亡 0 例）

※多形紅斑：（ディオバン錠・エックスフォージ配合錠）1 例（うち死亡 0 例）

※類天疱瘡：（ディオバン錠）1 例（うち死亡 0 例）（全て平成 22 年 4 月～平成 25 年 6 月）

- ◎黄連解毒湯(医療用)(商品名:ツムラ黄連解毒湯エキス顆粒(医療用))<漢方製剤>
- ◎加味逍遙散(医療用)(商品名:ツムラ加味逍遙散エキス顆粒(医療用))<漢方製剤>
- ◎辛夷清肺湯(医療用)(商品名:ツムラ辛夷清肺湯エキス顆粒(医療用))<漢方製剤>(未採用)

【重大な副作用】腸間膜静脈硬化症：長期投与によりあらわれることがある。腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれた場合、又は便潜血陽性になった場合には投与中止、CT、大腸内視鏡等の検査実施とともに、適切な処置を行うこと。なお腸管切除術に至った症例も報告されている。

※腸間膜静脈硬化症関連症例：(黄連解毒湯・辛夷清肺湯) 4例(うち死亡0例)
(加味逍遙散) 6例(うち死亡0例)(全て平成22年4月～平成25年6月)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>)
又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能。

緊急購入薬の診療科限定オーダ開始のお知らせ



下記緊急購入薬の診療科限定オーダを開始します。

オーダ開始日	緊急購入薬		対象診療科
2013年9月9日	ミニリンメルト OD錠 60 μ g	→	泌尿器科

包装変更のお知らせ

- ◎イソパイドシロップ 70%(一般名:イソソルビド)<経口浸透圧利尿・メニエール病改善剤 >
 - ・強度を上げるため従来品より樹脂を厚くした硬めの容器に変更(形状・材質の変更なし)
- ◎アブラキサン点滴静注用 100mg(一般名:パクリタキセル)<抗悪性腫瘍剤>

- ・ゴム栓の形状変更
- ・アルミキャップ部に6桁の数字を印字

	変更前		変更後
アルミキャップ部		→	

- ◎サンコバ点眼液 0.02%(一般名:シアノコバラミン)<調節機能改善点眼剤>
 - ・貯法が以下のように変更のため、点眼容器ラベル・投薬袋・個装箱の貯法の表示「遮光保存」を削除(変更前)貯法：日光、蛍光灯等の直射を避け、室温保存 → (変更後)貯法：室温保存
- ◎ティーエスワン配合カプセル T20・25(一般名:テガフル・ギメラシル K・オテラシル K)<代謝拮抗剤>
 - ・PTPシート裏面に調剤包装単位の新バーコードを表示
 - ・PTPシートデザイン変更
- ◎テルシガンエロゾル 100 μ g(一般名:オキシトロピウム臭化物)<抗コリン性気管支収縮抑制剤>
 - ・封緘テープのデザイン変更
- ◎テレミンソフト坐剤 2mg・10mg(一般名:ピサコジル)<排便機能促進剤>
 - ・コンテナシートデザイン変更、製造番号表示追加
- ◎リュープリン注射用キット 1.88・3.75、SR注射用キット 11.25(一般名:リュープロレリン酢酸塩)
<LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤>
 - ・針刺し事故防止のため、安全装置(セーフティデバイス)追加
 - ・注射針の長さ変更、キット品の全長変更

	変更前		変更後
針	5/8 インチ	→	1 インチ
全長(キャップ付き)	214mm	→	224mm